

2024 年度 保証人懇談会資料

P. 01-19	全体説明会資料
P. 20-25	教育への取組みについて
P. 26-30	学生生活の概要



関東学院大学について

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

■学部・学科/コース（11学部14学科9コース）



3

関東学院大学の歴史・校訓について

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

■1884年

横浜山手に、関東学院大学の源流となる
横浜バプテスト神学校が設立

■横浜に誕生して140年

■キリスト教主義の総合大学



初代校長 Albert Arnold Bennett



校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと

広く世の中に貢献できる学問・知識を身につけた有能な
人材の育成を教育理念としている

4

関内キャンパスのご紹介

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY



5

日本全国 各自治体と連携を進めています！

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

◇沖縄県

2022年 与那原町、西原町と「連携及び協力に関する協定」を締結
元与那原町政策調整監 前城充氏が特任教授に就任
沖縄県内の学生との合同インターンシップ



前城 充氏
 1962年 那覇市生まれ
 1985年 南風原町役場入庁
 2019年 南風原町役場を退職、
 与那原町役場に「政策調整監」
 として入庁
 2023年3月 退職
 2023年4月 関東学院大学 特任教授就任
 現職 南風原町社会教育委員
 (株)フロントキャスル相談役



6

日本全国 各自治体と連携を進めています！

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

◇沖縄県

2024年 就職支援協定を締結

Uターン、Iターン就職への支援

- ・学内での合同企業説明会への参加
- ・県内企業へのインターンシップ 等



7

全国の自治体・企業・大学等との連携を進めています！

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

◇新潟県

新潟青陵大学との連携



K G U 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

◇横浜市

包括連携協定締結

まじゅんプロジェクト(中区本牧)

横浜エクセレンスとの協定を締結



K G U 関東学院大学
KANTO GAKUIN UNIVERSITY



8





関東学院大学 × 横浜エクセレンス

横浜エクセレンスのホームアリーナである
横浜武道館と横浜・関内キャンパスの
距離の近さを活かした様々な交流を実施

長期インターンシップ生の受入れ、
パブリックビューイングの実施、練習場所の相互利用など

交流を経て、2023年12月22日
連携及び協力に関する協定を締結

人間共生学部 コミュニケーション学科「プロジェクト科目」(2単位)



こずみのANNEX

地域のシェアラウンジ

×

学生のシェアハウス

シェアハウスとして再生した空き家の共用部を
横浜市の助成を受け、地域活性化のための
コミュニティスペースへリノベーション。
地域住民の方々と何度もワークショップを実
施しながら、計画・デザインを立案。

建築・環境学部 空き家リノベーション・プロジェクト



わが国の理工系人材不足解消に向けた連携による取り組み。

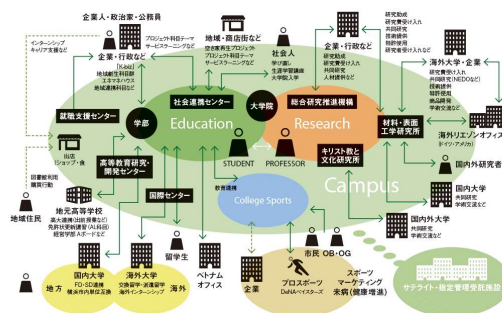
中外製薬×理工学部 中学生向け実験教室開催



社会連携教育

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

全ての課題は、社会の中にあります。
教室で学ぶ「理論」と、社会での「実践」
の往復が社会連携教育の学びです。
他学部の学生や企業、自治体等と連携し、専門分野や世代、肩書き、文化背景等が異なる多様の人々と協働しながら、実社会の中で課題発見・解決にチャレンジし、実践的な力を身に付けていきます。



13

就職支援体制

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

関東学院大学の就職状況



2024卒の就職率 (2024年5月1日現在)

就職率 : 95.9%

実就職率 : 85.5%

就職活動におけるトレンド



採用直結型インターンシップ^o

5日間以上のインターンシップであれば、選考での活用が可能に。

就職活動におけるトレンド

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

早期化

2025卒から早期化が加速。早めの動きだしが鍵。

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

関東学院大学の就職支援

2025卒（4年生）向け就職支援プログラム



- ▶ **キャリアコンサルタント有資格者による個別相談**
- ▶ **学内合同企業説明会、面接会等のイベント開催**

就職に悩んだら、まずは就職支援センターへ。

2026卒（3年生）向け就職支援プログラム



- ▶ **就職ガイダンス**
- ▶ **KGUインターンシップ[°]（事前指導）**
- ▶ **大学連携型インターンシップ[°]**
- ▶ **就活準備プログラム**
- ▶ **業界セミナー・学内合同企業説明会**

スキルの積み上げのために、積極的活用を。

2027卒（2年生）向け就職支援プログラム

- ▶ 就職ガイダンス
- ▶ 就活準備プログラム
- ▶ 業界セミナー

早期から進路選択を自分ごと化することが重要。

関東学院大学の就職力

- ▶ 総合力ランキング 全国35位
- ▶ 行動力ランキング 全国15位
- ▶ 独創性ランキング 全国14位
- ▶ 採用を増やしたい大学
ランキング 全国 8位
- ▶ 就職支援に熱心に取り組む
大学ランキング 全国12位



日経HR「日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学 就職力ランキング 2024-2025」

保証人の皆さまへのお願い

保証人の皆さまへのお願い

保護者との関わりでよかったこと。

- 1 位：個性を尊重し、自分の活動を肯定してくれた。
- 2 位：普段と同じ態度、見守り役、聞き役に徹してくれた。
- 3 位：物質的援助をしてくれた（スーツなど）。
- 4 位：励まし、癒し、心の支えになってくれた。

株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所「就職プロセス調査 2024年卒 2023年12月1日時点」

保証人の皆さまへのお願い

学生が一番のサポーターに。

時代とともに、社会情勢や就業環境なども大きく変わっていますので、学生と、保証人の皆さまの価値観に違いが生じる場合がありますが、否定的な意見や、誰かとの比較、意見の押し付けは、NGです。

見守り役、聞き役に徹しながら、普段通り接し、学生自身が考えて決断できる様に促し、決断を肯定してあげることが重要です。

就職活動を通して、学生は成長していきます。

学生の就職活動を全力で支援。

就職支援センターをぜひ、ご活用ください。

学生支援体制

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

教務課
学修面の相談窓口

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

履修登録

レポート
試験

単位認定

資格取得
(教職課程)

転部・転科

他学部受講制度

副専攻制度

学業成績の評価について

■GPA制度とは

各科目の成績をGPに換算、科目1単位あたりの成績を数値で示したもの

！奨学金の支給、特待生やスカラシップ生の継続などの判断基準となる

■不可になった科目を再履修した場合、評価は上書きされる

秀 (S) : 4 pt

優 (A) : 3 pt

良 (B) : 2 pt

可 (C) : 1 pt

不可 (F) : 0 pt

29

奨学金

学籍
(学費、休学等)

トラブル
相談

学生寮

課外活動

落とし物

など…

！地域や企業、自治体、警察等との協力体制も整備

30

総合案内
相談窓口

居場所

学習支援塾

教職員メンター

学生メンター

障がい学生の支援
(ノートテイカー)

など…

！学内の適切な部署へ接続、連携も行います

31

■長期留学(交換・派遣・語学派遣)/短期留学(語学研修)
留学に向けた語学試験対策、語学講座

夏期語学研修参加者募集！

サンフランシスコ州立大学
(アメリカ・カリフォルニア州)

《研修概要》

留学先	サンフランシスコ州立大学
期間	2024年8月11日(日)～9月1日(日)
内容	- 語学研修(多国籍合同・オープンクラス) - 美術、ビジネス、文化、科学技術など多様なアクティビティ、フィールドトリップ、文化体験等 - Conversation Partners(現地の学生)が授業やアクティビティに参加
参加費用	募集要項で確認してください
定員	5名(最少催行人数:3名)
滞在	レジデンス(シングルルーム、バス・トイレ付)

・上記は予定であり、今後変更となる場合があります。
・詳細は説明会及び募集要項で必ず確認をしてください。

語学試験対策

プロ講師から学ぶ！

TOEFL ITP対策講座

期 間	5月27日(月)～6月20日(木)の 月曜日・木曜日 19:00～20:30
時間数	12時間(90分×8回)
レベル	初中级/目標スコア:500点
定 員	15名・先着順(満員の場合は抽選で決定)
方 法	Zoom(ZoomID:888888888)
費 用	6,000円(ZoomID:888888888) 6/22(土)のTOEFL ITP試験とセットで申込 する場合は、8,000円(2,000円引)
締 切	5月9日(木)

※国際センターのウェブサイトから申し込みが可能です。
※個人申し込みの場合は、申し込み時に必ず「国際センター」の欄に記入してください。
※申し込みは、国際センターのウェブサイトから行うことができます。
※申し込みは、国際センターのウェブサイトから行うことができます。
※申し込みは、国際センターのウェブサイトから行うことができます。

語学講座

毎週木曜日開催(全8回)

英 会 話 (@関内)

内容	English Lunch Break ～お昼休みの英会話～ ●ネイティブの先生と、英会話をしましょう！ ●英語のレベルは問いません。 ●お昼休み(12:00～13:00)に開催します。
日時	5月9日・16日・23日・30日・ 6月6日・13日・20日・27日 ★各回12:35～13:05
場所	＜関内キャンパス＞ 6F インターナショナルラウンジ
定員	20名(各回先着順)
事前申込	不要

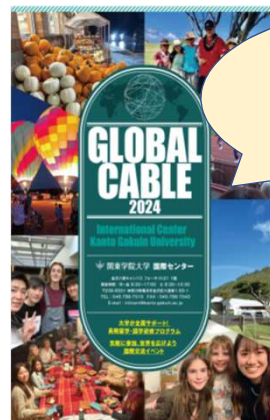
＜主催＞国際センター
TEL: 045-232-4340(関内)
Email: info@kanto-gakuin.ac.jp

32

■バディ制度/留学生・日本人学生交流会 インターナショナル・カフェ/日本文化体験イベント…など

バディ制度

新入生Welcomeツアー



詳しくは、配布資料
“グローバルケーブル”を
ご覧ください！

33

その他の支援体制

カウンセリングセンター

カウンセラー(臨床心理士、公認心理師)の常駐

学院保健センター

看護師、保健師の常駐、健康相談

など…

34

そのほか

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

KGU Researchers

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

関東学院大学の研究者の頭の中を巡る知の冒険



 **YouTube**にて公開中！



Q #KGU_RESEARCHERS **検索**

36

関内キャンパスを拠点としたイベントを開催！

K G U
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

■Christmas Academy ～音楽とトークで愉しむクリスマスの夕べ～



37

ご清聴ありがとうございました

K G U

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

関東学院大学の教育への取組みについて

1. 本学の3つのポリシーと教育改革の概要

3つの方針を通じた学修目標の具体化 ―確かな学士力の育成と学生本位の教育―

関東学院大学では、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、「学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）」「入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）」の3つの方針（ポリシー）を定め、本学の教育の特色を示すとともに、本学の学生が「何を学び、身に付けることができるのか」を明確にし、学生本位の教育の実現に努めております。

特に「学位授与方針」は、学生本位の教育の起点となるものであり、本学の学生が卒業までに身に付けるべき資質・能力について、「知識・理解」「技能」「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」の4つの領域ごとに具体的に示しています。これらの能力は、急激な変化を続ける現代社会において、学生が、自立し、思考力と行動力を伴って、不確実性の高いこれからの社会で活躍していくために必要な総合的な人間力の礎となるものです。

そして、「教育課程編成・実施の方針」には、「学位授与方針」を達成するための本学における教育課程や教育内容・方法等を、「入学者受け入れ方針」には、本学の教育を行うにあたり求める学生像等を示しており、3つの方針を一貫性・整合性のあるものとして定めております。

さらに、学生の体系的な学修を支援するため、「学位授与方針」と各授業科目との関係や学びの流れを示した「カリキュラム・マップ」を作成し、あらかじめ学生に明示しております。また、各授業科目のシラバス（授業計画）には「科目のテーマ及び概要」や「科目の到達目標」のほか、「学位授与方針と各科目の関連」を明示し、各授業回で必要な「学習課題（予習・復習）」を指示しております。2023年度からは、開講する全ての授業科目にナンバーを付して分類（ナンバリング）し、教育課程上の科目の位置づけ、学習水準、段階を体系的に明示する仕組みを新たに作りました。

本学では、今後も上記ポリシーに則して個々の学生への学習指導を推進してまいります。

キリスト教に基づく教育

本学のキリスト教関連科目は、「キリスト教に基づく教育を行う」との「建学の精神」のもとに設置されている科目です。その中でも全学共通科目である「キリスト教学」は、聖書の学問的理解とキリスト教の教えおよび倫理思想などの概説を通し、キリスト教への正しい理解を深めるための基礎的科目として位置づけています。これは、学生個々の人格形成に寄与するとともに、深く人類の歴史と文化を洞察する豊かな力を養うものです。

他のキリスト教関連科目も同様に、テーマ別にさまざまな角度からキリスト教の学びを通して、人間とは何か、この世界はどのようなものかを考え、歴史の中でキリスト教が果たした貢献について広く学ぶことができます。それらを考察することは、自分自身の人間観や世界観を捉えなおし、自己の存在意義を確認することにつながります。それは他の宗教や他の価値観に対しても理解を深める糸口となり、他者を理解し、現代世界、あるいは自分自身が

向き合っている諸課題にどのように取り組むことが出来るのか、考えを判断する機会でもあります。

自立と実社会への理解

全学部に通して開講され、他学部学生と共に学習する「全学共通科目」として、自己キャリア形成を目的とした「全学共通キャリア教育科目」や地域社会と連携した教育のフィールドとなる横浜・神奈川を理解する「全学共通地域志向科目（KGU かながわ学）」を設置しています。実社会の中で学ぶプロジェクト型の科目や、ボランティア等へ参加する際にも、自分自身を知ることや地域の特性を理解することで、より実践的な学びを深めることができます。

また、社会連携センターを中心に、地域や企業、自治体と連携した教育を推進しています。

学修環境の整備

現在、11 学部の学生が横浜南部に位置する金沢八景キャンパスおよび横浜中心部の関内キャンパスで学んでいます。この両キャンパスを横断して他学部受講や副専攻、インスティテュートなどの制度を活用することで、総合大学としての幅広い学びを可能とする環境を整備しています。

今後も、全学的な地域連携、PBL（課題解決型学修）の実施など、社会に開かれたキャンパスをコンセプトに、立地の利を活かした「社会連携教育」を展開していきます。

海外指定校制推薦入学試験制度 ―グローバル・多様性への志向―

学生が将来、多様な人々と協働する力を養えるように、海外指定校推薦による学部・大学院への入学や、編入学の制度を整備して、キャンパスの国際化を進めています。海外への留学制度を整備すると共に、キャンパスに留学生が増えることは、在学生の留学志向の向上や、英語力の向上、またこれからの社会に必要なグローバルな感覚を磨くことにもつながります。

また、別項に記載の国内留学を利用した他大学生や、「履修証明プログラム制度」（学部による）を利用した社会人が同じキャンパスで学んでおり、学内で多様な学生に触れる機会は増えています。

2. 学生の学び

大学の教育課程では、学部・学科・コース毎に卒業要件が定められており、その要件を満たすことによって、卒業が認められます。

必修科目やクラス指定科目以外は、学生が時間割やシラバス（授業内容や成績評価の基準等を記載）、履修要綱に掲載されたカリキュラム・マップや教育課程表を参照し、4 年間の大まかな学修計画を立てたうえで、各年度の履修科目を選択します。シラバスは、KGU ポータル（学生ポータルシステム）から検索することができ、学外からも自由に閲覧できる仕組みになっています。

大学生としての一般教養を学ぶための科目（共通科目）とともに、学年進級に伴い高度な専門科目を学ぶことになります。

履修登録

履修登録とは、各学年の初めに、学生が自分で選択した履修科目を大学に申請することで

す。春学期に一年間分（春学期・秋学期）の履修科目を申請し、秋学期開始時には春学期の単位修得状況を勘案して、変更することも可能です。この履修登録が正しく申請されていないと、授業に出席して試験に合格しても単位取得とはなりません。

学習方法・授業形態

履修登録をした上で、初回から授業に参加し、与えられた課題や試験を受け、学習を進めます。また、単位修得のためには、授業時間内の学習だけではなく、予習復習も行う必要があります。授業各回の予習・復習内容、使用する教科書や参考書については、前述したシラバスに掲載しています。

授業形態については、学生の学修機会を確保し、可能な限り教員と学生間の交流機会を確保するため、原則は対面型の授業です。また、学生の履修の幅を広げるため、教育効果を高めるためなどの理由で、一部オンライン型の授業もあります。なお、オンライン型の科目は、卒業に必要な単位数に算入できる上限が 60 単位までと定められています。成績表等では、科目名の前に「★」印が付与されています。

成績評価

学修の成果を問うために、レポート課題や試験が行われます。また、演習・実験・実習では、プレゼンテーション、発表などで評価することもあります。毎回の授業で小テストを課すなど、成績評価基準は科目毎に異なります。

本学では、5 段階評価（秀・優・良・可・不可）を採用しております。

単位認定

レポート課題、試験などの内容が、一定の基準を満たすと認められた場合に、単位が付与されます。必修科目を修得できなかった場合には、再履修する必要があります。上記の成績評価のうち秀・優・良・可の成績で単位認定となります。成績評価結果については、KGU ポータルおよび次の学期はじめのオリエンテーションで成績表が配付されます。保証人の方には、3 月下旬と 9 月下旬の年 2 回、学費通知書とともに送付いたします。

卒業

4 年以上在学し、所属学部・学科・コースで定められた単位を修得し、卒業要件を満たした場合に卒業有資格者となります。通常の 3 月卒業の他、休学、留年等で半年遅れる場合には、9 月卒業となります。

3. GPA 制度

GPA とは、各授業科目の成績結果を GP（グレード・ポイント）に換算して、履修した全ての科目 1 単位あたりの成績を数値で示したものです。その値により学生個人の成績状況を把握することができます。

本学では、GPA を学生の学修状況の把握と学修指導に利用すると共に、学生自らが学業成績の状況を把握し、学修意欲を高めることを目的に導入しています。

GPA は、秀 (S) を 4、優 (A) を 3、良 (B) を 2、可 (C) を 1、不可 (F) を 0 という GP（グレード・ポイント）に置き換え、算出しています。資格取得等を目的とする諸課程科目の単位および「認」、「合」判定の科目は、計算に含まれません。なお、不可 (F) となった科

目を再履修した場合は、その評価を反映して再計算（上書き）されます。

4. 初年次教育

各学部では、それぞれ少人数クラスの科目を開講し、大学での学びが円滑に進められるよう、きめ細かく指導しています。

全学共通科目「KGU キャリアデザイン入門1」（新入生全員が履修）・「KGU キャリアデザイン入門2」では、自己実現力と他者理解力を高め、卒業後を意識した4年間の大学生活をデザインすることを目標としています。

これらの科目では、本学の建学の精神・自校史を学びます。1年次に職業選択のための適正診断を受検し、受検結果を通して得られる自分が思い描くキャリア像と、現在の自分との相違点などを確認し、4年間の学生生活の過ごし方とその先のキャリアを自ら考えながらデザインしていきます。

5. 全学共通科目

（キャリア関連）

前述の初年次教育を始め、学生の皆さんが社会の中での『私』『私たち』を認識し、現在と未来をデザインすることなどを目的として、「KGU キャリアスタディ」・「KGU キャリアデザイン基礎」・「KGU キャリアデザイン基礎2」・「KGU キャリアデザイン実践」・「KGU インターンシップ1（事前指導）」・「KGU インターンシップ2（実習）」・「KGU インターンシップ2（長期実習）」を設けています。

（地域志向関連）

全学共通「KGU かながわ学」では、地元自治体や地域、地元企業等のニーズを把握し、自らの学習・研究成果を以って、地域の持続的発展に貢献できる人材を育成することを目的に、以下の10分野開講しています。

◎10分野〔行政、経済、政治、スポーツ、歴史・文化、自然、健康、地域づくり、地域安全、コミュニティ〕

また、実際に地方自治に関わる現状や課題を学ぶ「地域創生特論」では、2023年度は12自治体から市長や議員を講師に招聘しました。

（データサイエンス関連）

グローバル市場へと展開した現在の産業構造への適応、さらに未来への基盤作りの一環として、「KGU データサイエンス概論」・「KGU データサイエンス演習」を設けています。

この科目は、「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能をもとに、自らの意思でデータを読み、そのデータを説明し、活用できる人材の育成を目的としています。

6. 他学部受講制度

学生は、所定の科目であれば、他学部の科目を受講することができます。修得した科目は、各学部の基準により卒業所要単位として認められます。

7. 副専攻制度

所属する学部・学科の専門分野の知識以外に、この制度は、他学部受講制度と同様に総合大学のメリットを生かし、学生の興味、関心や多様なニーズに応え、幅広い学修の機会を提供します。

特定分野や課題に関連した科目を体系的に履修することができ、その成果は単位として認定され、要件を満たした学生には修了証書が発行されます。

現在、全学で合計 29 の副専攻が開設されています。

8. インスティテュート

インスティテュートとは、特定分野ごとに設置される学部横断的な教育プログラムです。学部の専門領域で学ぶ知見に加え、各分野の知識と理解を深めることで複眼的な視点を養います。本学では、以下の三つのインスティテュートが設置されています。

①キリスト教人間学インスティテュート

キリスト教の「精神」の理解を深め、異なる文化や価値を知り、多様なものの見方や考え方を身に着ける「人間力」が養われます。所定の単位を修得することで、「宗教文化士」の受験資格を得ることができます。

②スポーツインスティテュート *履修には指定の部活動への所属が必要等の条件があります
スポーツを「高次のアクティブラーニング」として捉え、学びとスポーツをリンクして高い教育効果と競技力向上を実現し、部活動をより質の高い“学びの場”とするために設置された教育プログラムです。所定の単位を修得することで、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格「スポーツコーチングリーダー」の受験資格を得ることができます。

③グローバルインスティテュート

グローバルインスティテュートでは、主体的な課題設定力、コミュニケーション能力、協調性・協働性といった能力を伸ばし、グローバル社会や多文化共生社会での課題を解決するスキルを身に付け、専門分野を超えた多様な視点やアプローチを身につけることが目的です。卒業後にグローバル社会での活躍を希望する学生のために、異文化理解、多文化共生、SDGs、地球市民など国際社会に関する基礎的な知識を学ぶことと合わせて、協働してチームワークが取れるようにカリキュラムを構成しています。

9. 横浜市内大学間単位互換制度

この制度は、本学の学生が横浜市内にある他大学の授業科目を受講できる制度です。受講料は無料です。

神奈川大学、國學院大學、鶴見大学、桐蔭横浜大学、東京都市大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、明治学院大学、横浜国立大学、横浜商科大学、横浜市立大学の 11 大学の授業を受講でき、各学部の基準により卒業所要単位として認められます。

10. 国内留学

「国内留学」として本学に在籍のまま1年間または半年間、他大学で勉強し、修得した単位は、各学部の基準により卒業所要単位として認められます。国内留学の協定を沖縄大学、札幌学院大学、尚絅学院大学と結んでいます。

11. 授業改善への取り組み

授業の改善・向上のため、「学習と授業に関するアンケート」を実施しており、学生からの率直な意見に基づき、教員は今後の授業の在り方を改善するようにしております。

また、教員がお互いの授業を参観しあう公開授業制度や、授業の改善・向上のための研修会・セミナーを行う等、より良い授業をするために大学をあげて取り組んでいます。

12. 海外留学

本学では、海外の大学と提携し、長期（交換・派遣・語学派遣）留学プログラム及び短期の語学研修プログラムを実施しています。

修得した単位は各学部の基準により卒業所要単位として認められます。なお、長期留学プログラムに参加した場合でも、4年間で卒業することが可能です。

13. 資格取得の単位認定

入学前、入学後に取得した資格のうち、一定の基準を満たせば、関連科目の単位認定を行っている学部もあります。

例えば、TOEIC、TOEFLの得点、英語やその他外国語検定試験、数学検定試験、情報処理技術者関連の試験、CAD利用技術者等です。

14. 教職課程など各種資格課程について（学部により取得できる資格は異なります）

- ① 教職課程：幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭（英語、社会、数学、理科、技術）、高等学校教諭（英語、地理歴史、公民、商業、数学、理科、工業）、栄養教諭、特別支援学校教諭
- ② 図書館司書、学校図書館司書教諭
- ③ 学芸員
- ④ 日本語教員
- ⑤ 社会福祉士
- ⑥ 管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者・監視員
- ⑦ 認定心理士、准学校心理士
- ⑧ 保育士
- ⑨ 看護師

以上

学生生活の概要

学生支援部

現在本学では、10,000 人を超える学生が学んでいます。学生支援部では、学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるよう奨学金や課外活動、キッチンカーの導入や、友人関係や一人暮らし等の生活面での相談、アパート紹介等、学業以外のキャンパスライフ全般にかかわる学生支援をはじめ、学生たちが抱える様々な問題についての解決支援を行っています。

I. 学生数（合計 11,187 人）【2024 年 5 月 1 日現在】

○学部（合計 10,968）

国際文化学部（1,104）、社会学部（771）、経済学部（1,464）、経営学部（1,528）、法学部（1,370）、理工学部（1,828）、建築・環境学部（579）、栄養学部（405）、教育学部（556）、人間共生学部（1027）、看護学部（336）

○大学院修士課程・博士前期課程（合計 183）

文学研究科（10）、経済学研究科（7）、法学研究科（15）、工学研究科（149）、看護学研究科（2）

○大学院博士後期課程（合計 36）

文学研究科（9）、経済学研究科（2）、工学研究科（25）

II. 課外活動

◎2023 年度の強化指定クラブの活動状況

〔ラグビー部〕

- ・関東大学リーグ戦 2 部 優勝（1 部昇格）

〔硬式野球部〕

- ・2023 年度神奈川大学野球春季リーグ戦 1 部 3 位/6 大学
- ・2023 年度神奈川大学野球秋季リーグ戦 1 部 4 位/6 大学

〔陸上競技部〕

- ・第 100 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会 総合 31 位

〔サッカー部〕

- ・関東大学サッカーリーグ戦 2 部 2 位/12 大学（1 部昇格）

〔剣道部〕

- ・春季神奈川県学生剣道選手権大会 男子団体優勝、女子団体優勝
- ・関東女子学生剣道優勝大会 ベスト 16（全国大会出場権獲得）
- ・全日本女子学生剣道優勝大会 5 位（敢闘賞）

〔ハンドボール部〕

- ・第 42 回東日本学生選手権大会 出場
- ・全日本学生ハンドボール選手権大会 出場

〔ウィンドサーフィン部〕

- ・全日本学生ボードセーリング選手権大学対抗戦 団体 4 位
- ・全日本学生ボードセーリング選手権 個人戦 4 位入賞

〔チアダンス部〕

- ・ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 2023 関東予選大会
大学生編成 Pom 部門 Small 第 5 位（全国大会出場権獲得）
- ・ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 2023 決勝大会 出場

Ⅲ. 地域貢献活動

◎2024 年度の主な活動（予定）

○6/2 スポーツフェスティバルの開催

近隣の園児から小学生及び近隣住民を対象（約 2,000 名の来場者を見込む）に本学の運動部に所属する学生や指導者がスポーツの楽しさや、ルールの大切さなどを学ぶ機会として体験教室（走り方・野球・サッカー・バスケットボール・ソフトテニス・チアダンス）、近隣商店街の協力による模擬店、各学部による体験教室等

○ラグビー部：小学校での競技体験の実施

○硬式野球部：少年少女野球大会・ソフトボール大会、小学校での競技体験の実施、部活動指導員として中学校での指導

○陸上競技部：走り方教室の開催、小学校での競技体験の実施

○サッカー部：部活動指導員として中学校での指導、大学周辺・通学路の清掃活動の実施

○剣道部：剣道上達講座の実施

○バスケットボール部：部活動指導員として中学校での指導

○ウィンドサーフィン部：ウィンドサーフィン体験教室の実施

○音楽団体：ベイサイドマリーナ地域イベントでの演奏の協力

○各強化指定クラブ：地域住民を対象とした体力測定講座の実施

※現時点での予定であり、実施については状況に応じて中止となる可能性があります。

Ⅳ. 大学構内のキッチンカーの導入

日々の学生生活の中で食の充実、また学食や教室内の密を避けるために、各キャンパスにキッチンカーを導入しています。2021 年度より横須賀市と提携し、地元キッチンカーの出店も開始しました。2015 年に導入を開始した当初は 3 店でしたが、今では 20 店以上に拡大しました。

Ⅴ. マナー教育の実施事例

- ・2011 年度から横浜・金沢八景キャンパス—金沢八景駅間通学路で歩行マナー指導員による、集団歩行・歩きタバコ等のマナー向上指導を実施
- ・2023 年度から横浜・関内キャンパス—JR 関内駅通学路で歩行マナー指導員による、集団歩行・歩きタバコ等のマナー向上指導を実施
- ・2011 年度から横浜・金沢八景キャンパスで「タバコ分煙巡回指導員」による分煙・禁煙の啓発活動を実施

Ⅵ. 学生生活支援

- ・新入生オリエンテーションの学生生活ガイダンスで日常生活に潜むトラブルや今年度からの成年年齢引下げによる影響についての注意喚起を実施

※2024 年度のイベント・講習会の実施方法・内容については、現在検討中です。

VII. 本学独自の主な奨学金

各奨学金の要項、申請時期等は適宜、本学ポータルサイト（KGU ポータル）に掲載いたします。

特待生制度〔公募なし〕

（年間授業料相当額（授業料減免措置を受ける者は減免後の授業料相当額）、各年度 70 名以内）

3・4 年次生で学業成績が極めて優れた者（ただし、各スカラシップ生は除く）

給付奨学金〔4 月上旬募集〕

（年間 20 万、50 名以内）

2 年次以上のうち学業、人物ともに優秀で、経済的理由により修学困難で日本学生支援機構貸与者（ただし、特待生、各スカラシップ生は除く）

兄弟姉妹給付奨学金〔4 月中旬募集〕

（入学金相当額）

新入生で兄弟姉妹が学部又は大学院に在籍している者（入学時のみ）

斉藤小四郎奨学金〔5 月下旬募集〕

（採用年度・採用者数による）

3・4 年次生で学部長の推薦するキリスト教に理解のある者

学費教育ローン利息補給奨学金〔10 月下旬募集〕

（年間支払利息相当額、上限あり）

学部生で教育ローンを利用している学費納入済みの者

冠奨学金〔9 月下旬～10 月上旬募集〕

（寄付金の件数及び金額による）

①学業成績優秀者、②学業成績良好で経済的理由により学業の継続が困難と認められる者、③ボランティア等各種社会活動や正課外教育活動で活躍する者、④正課又は正課外活動において自主的な活動をする者

兵藤奨学金〔5 月・10 月募集〕

（対象年度の支給可能額に基づき決定）

（国際文化学部生・社会学部生・文学研究科生対象）

①学芸奨励、②キャリア支援の二項目について、項目ごとの審査要件を満たす者

「関東学院女子短期大学記念」奨学金〔第 1 種：随時募集、第 3 種：4 月又は 9 月〕

（人間共生学部・栄養学部・教育学部生対象）

【第 1 種】家計支持者の失職・死亡・火災等による家計の急変により修学困難な者

（学費相当額の全額または半額（1 年次生の場合は諸納付金含）ただし、授業料減免措置を受けている者は減免後の授業料相当額）

【第 3 種】2 年次生及び 3 年次生で学業において優れた努力が認められる者（年間 10 万）

Ⅷ. 学生支援室

○総合案内・相談窓口

学生支援室は、総合案内・相談窓口として、学生生活に関するすべてのことについて、状況、必要に応じて関連部署や教員と連携をとり、サポートしています。

○居場所としての利用

授業の空き時間、昼休み等に気軽に自由に利用でき、飲食もできる場所です。勉強や友人とのおしゃべり等で活用されています。電子レンジ、電気ポット、給茶機（またはウォーターサーバー）、スマートフォン等の充電コーナーもあります。

○学習支援塾

元高校教員や大学院生等のチューターがマンツーマンで指導します。基礎学力の復習や苦手な科目の克服等の支援を行っています。

「レポート作成の基礎」及び「英語」については、オンデマンドでの講習も行っています。

<科目>

金沢八景キャンパス

英語、数学、物理、レポート作成の基礎

（国際文化学部、社会学部、経済学部、理工学部、建築・環境学部）

生物、化学

（人間共生学部共生デザイン学科、栄養学部、教育学部、看護学部）

関内キャンパス

英語、情報、レポート作成の基礎

（経営学部、法学部、人間共生学部コミュニケーション学科）

○教職員メンター制度

学生1名に教職員1名が担当について、半年間定期的に面談を行う個別サポート制度です。学生の希望に応じて継続できます。「将来について考えを整理したい」「社会人と話す経験をしたい」等さまざまなテーマで利用されています。「話を聴いてもらえて安心した」という利用学生の意見も多く、実際に成長した様子も伺えます。

○学生メンター制度

学生が下級生や困っている学生をサポートする学生ボランティアスタッフです。2024年5月1日現在、91名が登録しています。

<これまでの主な活動>

履修相談、学生向けイベントの企画・運営（関内でフォトスポット探し、チーム対抗探索ウォークラリー、バーベキュー大会、スポーツ交流会、地域のゴミ拾い、ものづくり体験、アロマキャンドル作り、ひとり暮らし向け企画、クリスマス！アイシングクッキーづくり等）、小学校・地域イベントのお手伝い（関東学院六浦小学校夏の夕べ・バザー、追浜ウォークラリー）等

※2024年度の活動内容については現在検討中です。

○ノートテイカー制度

障がいのある学生の履修授業のサポートを行っています。「ノートテイカー」は授業内容をパソコンと手書きで筆記する有償ボランティアです。オンライン授業においても利用者が安心して受講できるように、動画や音声の文字起こしを行っています。

2024年5月1日現在、ノートテイクを利用している障がいのある学生は1名おり、ノートテイカーは41名の学生が登録しています。障がいのある学生1名に対して約30名のノートテイカーが必要となるため、多くのノートテイカーの協力が必要です。学生支援室では、ノートテイク利用の申し出があったときにいつでも対応できるように、説明会を行い随時募集するとともに、講習会を開催してノートテイカーを育成しています。

○学生支援セミナー・イベントの開催

学生を元気にすること、学生の視野を広げることや、学生生活を充実させるきっかけを提供することを目的とした学生向けのセミナー・イベントを、年間を通して開催しています。

＜これまでの主な活動＞

食育講座（ヨーグルトセミナー、チーズセミナー、健康になる食事セミナー等）、和菓子作り教室、適正飲酒講座（ビール工場見学）、芸術鑑賞会（劇団四季ミュージカル）、学院ゆかりの地をめぐる街歩き、フラワーアレンジメント、POLA美容セミナー、ゆかた着付け教室、オンライン旅行、八景島シーパラダイスバックヤードツアー、ホテル鑑賞会、防災体験教室、じゃんけん大会、ヨガ&フィットネス、クリスマス・お正月企画、夢の学食フェア～お願いコックさん～（後援会から援助をいただき、2012年度から実施。学生が考案したメニューや全国ご当地グルメの人気投票など、毎年テーマを変えてメニューを提供）など

※2024年度のイベントの実施方法・内容については、現在検討中です。